

市では、九州大学 大学院 農学研究院附属 昆虫科学・新産業創生研究センターと連携し、さまざまな取り組みを進めています。

昆虫をはじめとする身近な生きものと私たちの暮らしとの関わりを、九州大学の先生たちがわかりやすく説明します。

スズメバチを正しく知ろう



外来種
ツマアカ
スズメバチ

最近の危険生物といえば「クマ」でしょうか。クマに襲われるなんて想像ただけで恐ろしいですね。しかし、クマを上回る危険生物が身の回りにはいます。それはスズメバチです。毎年、全国で10～20名の人

が刺されて亡くなります。それは、スズメバチに刺される人が毎年何千人もいるということを意味しています。

今の時期は、巣が最大サイズになり、次世代を担う新しい女王バチが巣内で育っています。働きバチにとって最も大事な時期であり、巣を守るべく刺激に過敏なため、秋はスズメバチにもっとも注意を払うべき時期です。

ですが、人を襲うのは巣に近づきすぎたときがほとんど。ハチに刺されるのは、頭、眉毛、眼、唇など色の濃いところが多く、これは黒いところを集中攻撃する習性があるからです。野山に出かける際は、黒など濃い色の服装を避けましょう。

研究者プロフィール

うえの たかとし
上野 高敏

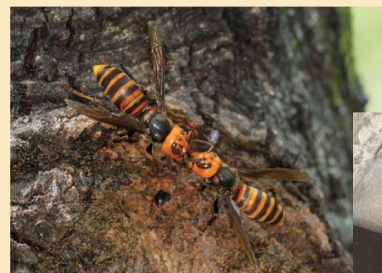


●九州大学 大学院 農学研究院 准教授
応用昆虫学、害虫とその天敵に関する研究、スズメバチの生態と防除や昆虫の生物多様性に関する研究を行っています。

長袖・長ズボンで、白っぽい帽子をかぶるとよいです。香水や整髪料などをつけていると狙われやすいといわれていますが、ウソですよ。

- 今の時期は巣には絶対に近づかない。
- 遭遇したら、ゆっくりあつとずさる。
- 攻撃を受けたら低い姿勢で逃げる。

スズメバチ対策をしっかりと頭の中にいれて、行楽シーズンを楽しんでください。



▲巣仲間同士は仲が良い
(オオスズメバチ)

(キイロスズメバチの巣)
▼巣内には数百匹のハチが!

